

## 「保育・教職実践演習」 履修カルテの作成及び保管について

### 1. 「保育・教職実践演習」のための履修カルテ①

#### (1) 履修カルテ①の作成

- ・学生各自で履修カルテ①に記入し、作成してください。
- ・レポート返却・科目試験結果等の「成績通知」並びに「科目別履修状況表」「学習記録表」にしたがって履修カルテ①を作成し、保育・教職実践演習受講時に提出してください。

#### (2) 履修カルテ①の運用

- ・学生本人が履修カルテを作成することにより、自らの免許関係科目の学習状況を確認する。

#### (3) 履修カルテ①の保管

- ・学生が自己管理し、保管する。
- ・他大学編入時に提出を求められる場合があることから、本学卒業後に編入を希望する方は特に保管には気をつけるようにしてください。  
(卒業後、履修状況等の再発行はできないため特に注意してください。)

### 2. 「保育・教職実践演習」のための履修カルテ② 自己評価シート

#### (1) 履修カルテ②の作成

- ・学生各自で履修カルテ②に記入し、作成してください。
- ・「1. 目指す先生像（わたしはこんな先生になりたい）」は入学時（または現在）に記入してください。
- ・「2. 必要な資質・能力についての自己評価」は各年次終了時と保育・教職実践演習終了時に記入してください。2～3年間（専攻により異なる）記入すれば以後の記入はしないこととします。
- ・「3. 先生を目指す上でこれからの課題だと考えていること」は保育・教職実践演習終了時に記入してください。

#### (2) 履修カルテ②の運用

- ・本人で履修カルテを作成し、自らの資質能力を確認する。

#### (3) 履修カルテ②の保管

- ・学生が自己管理し、保管する。
- ・他大学編入時に提出を求められる場合があることから、本学卒業後に編入を希望する方は特に保管には気をつけるようにしてください。  
(卒業後、履修状況等の再発行はできないため特に注意してください。)

[ 年度入学生用] 保育・教職実践演習のための履修カルテ①

学籍番号

氏名

学籍の種類	正科生(1年入学) 正科生(2年次編入・再入学) 正科生(3年次再入学) 科目等履修生
-------	--

入学期	年	月
	年	月

区分	授業科目名	単位数			履修区分	成績	レポート	スクーリング	科目試験
		通信	面接	計					
領域および保育内容の指導法に関する科目	健康論	1		1					
	人間関係論	1		1					
	環境論	1		1					
	言葉とこどもの文化	1		1					
	造形表現論	1		1					
	表現とこどもの運動	1		1					
	音楽表現論	1		1					
	保育内容総論	1		1					
	こどもの指導法「健康」		1	1					
	こどもの指導法「人間関係」		1	1					
	こどもの指導法「環境」		1	1					
	こどもの指導法「言葉」		1	1					
	こどもの指導法「リズム表現」		1	1					
	こどもの指導法「言語表現」		1	1					
教育の基礎的理解に関する科目	教育原理	2		2					
	教職論	2		2					
	教育心理学	1	1	2					
	特別支援教育	1		1					
	教育課程論	2		2					
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論	2		2					
	こどもの理解と相談支援	2		2					
教育実践に関する科目	教育実習事前・事後指導		1	1			事前: 事後:		
	教育実習		4	4			実習簿 2週間1回目: ( ) 2週間2回目: ( ) 4週間: ( )		
	保育・教職実践演習(幼稚園)	1	1	2					

- (1) 保育・教職実践演習のための履修カルテ①は、保育・教職実践演習を受講するために必要なものです。
- (2) 「履修区分」の欄は、本学で履修する科目に○印をしてください。
- (3) 学習記録表・科目別履修状況表にしたがって「成績」、「レポート」「スクーリング」「科目試験」の欄には合格した日付をそれぞれ記入してください。ただし、教育実習は、合格した実習簿の提出日とその成績を記入してください。
- また、「成績」の欄は、科目試験で合格となった成績(スクーリングのみの科目はスクーリング成績)を、教育実習で2週間実習を2回実施する場合は『◎』を記入してください。

例)

区分	授業科目名	単位数			履修区分	成績	レポート	スクーリング	科目試験
		通信	面接	計					
教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学	1	1	2	○	B	2019.5	2019.7	2019.6

[ 年度入学生用 ] 「保育・教職実践演習」のための履修カルテ② 自己評価シート

専攻 \_\_\_\_\_  
氏名 \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_

学籍の種類	正科生(1年次入学) 正科生(2年次編入・再入学) 正科生(3年次再入学) 科目等履修生
-------	---

入学期	年 月
	年 月

1. 目指す先生像(わたしはこんな先生になりたい)

2. 必要な資質・能力についての自己評価

先生として必要な資質・能力		主として対応する科目	項目	年次	1年次	2年次	3年次
				保育専攻	1年次終了時に記入	2年次終了時に記入	保育・教職実践演習スクーリング時に記入
				幼児専攻	1年次終了時に記入	保育・教職実践演習スクーリング時に記入	—
					全くそう思わない あまりそう思わない どちらでもない ややそう思う とてもそう思う	全くそう思わない あまりそう思わない どちらでもない ややそう思う とてもそう思う	全くそう思わない あまりそう思わない どちらでもない ややそう思う とてもそう思う
学校教育についての理解	教職の意義	教職論・教育原理・教育方法論・教育課程論	教職の意義や教員の役割、職務内容を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育の理念・歴史・思想の理解		教育の理念、歴史・思想、学校教育の役割についての基礎理論・知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
子どもについての理解	心理・発達論的な子どもの理解	教育心理学・特別支援教育・子どもの理解と相談支援	子ども理解のために必要な心理的・発達的な基礎知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもの状況に応じた対応		個々の子どもの特性や状況に応じた対応の仕方を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
コミュニケーション	発達段階に応じたコミュニケーション	教育実習事前事後指導・教育実習	子どもたちの発達段階を考慮して関わることができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	子どもに対する態度		子どもに対して親しみをもった態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	公平・受容的態度		子どもの態度や声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	社会人としての基本		挨拶、言葉遣い、服装、礼儀・マナーなど社会人としての基本的な事項が身についていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
他者との協力	他者意見の受容	教育原理教育実習	他者の意見やアドバイスを素直に受け入れ、課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保護者・地域との連携能力		保護者や地域との連携・協力の必要性・重要性を理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	他者との連携能力		他者と協力して課題に取り組むことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	役割遂行		率先して自らの役割を見つけたり、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教科・教育課程に関する基礎知識・技能	幼児教育	教育課程論・教育方法論・保育内容総論・健康論・人間関係論・環境論・造形表現論・表現と子どもの運動・音楽表現論・言葉と子どもの文化	これまで履修した幼児教育の科目内容について理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	幼稚園教育要領		幼稚園教育要領の内容について理解していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育課程の編成に関する基礎理論・知識		教育課程の編成に関する基礎理論、知識を習得していますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
教育実践	教材分析・教材開発能力	子どもの指導法「健康」、子どもの指導法「人間関係」、子どもの指導法「環境」、子どもの指導法「言葉」、子どもの指導法「リズム表現」、子どもの指導法「造形表現」、子どもの指導法「言語表現」、子どもの指導法「音楽表現」	保育のねらいを理解して教材分析や教材開発を行うことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	保育展開力		子どもの反応を活かし、保育を展開していくことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	表現技術		発問、声かけなど、保育を行ううえでの基本的な表現技術を身につけていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
課題探求	課題認識と探究心	教育実習	自らの課題を認識し、その課題解決につけて学び続ける姿勢を持っていますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
	教育時事問題		学校教育に関する課題に関心を持ち、自分なりの意見をもつことができますか。	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5

3. 先生を目指す上でこれからの課題だと考えていること

※裏面の自己評価シート記入方法を確認し、記入してください。

## 「保育・教職実践演習」のための履修カルテ② 自己評価シートの記入について

「保育・教職実践演習」は、短期大学で学んだ学習知と教育実習等で得られた指導力や実践知とのさらなる統合を目指して行われるものです。

そのため、日ごろから学生のみなさんは自身が先生として最小限必要な資質能力をどの程度身に付いているか確認していく必要があります。

「保育・教職実践演習」の履修カルテ② 自己評価シートでは、みなさま自身が自らの資質能力について自己評価をしてください。

### 記入に関する基本事項

#### 1. 目指す先生像(わたしはこんな先生になりたい)

入学時に、自分はこんな先生になりたいという目標を書いてください。

#### 2. 必要な資質・能力についての自己評価

保育専攻1年次は1年次の3月、2年次は2年次の3月にそれぞれ回答をしてください。3年次は保育・教職実践演習のスクーリング受講時に回答してください。

幼児専攻1年次は1年次の3月、2年次は保育・教職実践演習のスクーリング受講時に回答してください。

科目等履修生は、履修した年次で保育・教職実践演習のスクーリング受講時に回答してください。

主として対応する科目を記載していますが、科目の履修・単位取得に関わらず、全項目に回答してください。

#### 3. 先生を目指す上でこれからの課題だと考えていること

保育・教職実践演習のスクーリング受講時に考えてください。

※この「保育・教職実践演習」のための履修カルテ② 自己評価シートは在学中使用しますので、無くさないように各自で保管してください。